



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL https://ifuji.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,619	6.9	1,125	3.3	1,156	3.9	797	△5.7
2022年3月期第3四半期	13,676	33.2	1,088	11.5	1,113	12.0	846	25.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 800百万円(△4.4%) 2022年3月期第3四半期 836百万円(23.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	96.92	—
2022年3月期第3四半期	103.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,046	8,113	62.2
2022年3月期	11,759	7,529	64.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,113百万円 2022年3月期 7,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	12.00	—	16.00	28.00
2023年3月期	—	14.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	18.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭(創立50周年記念配当)

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,059	3.6	1,333	0.6	1,358	0.1	919	△7.7	112.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,345,370株	2022年3月期	8,345,370株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	101,406株	2022年3月期	133,606株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	8,230,540株	2022年3月期3Q	8,198,505株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染再拡大に警戒しながら各種感染対策により経済社会活動の正常化が進みつつあるものの、円安の進行やウクライナ問題の長期化等に伴う原材料価格やエネルギー価格の上昇により物価が上昇し、景気の先行きの不透明感が続いております。

食品業界におきましても、円安や世界的なインフレの影響等により原材料価格が上昇し、値上げが相次ぎました。また、鶏卵業界では、飼料価格の高騰等に伴う生産コスト増による鶏卵生産者の生産意欲の減退に加え、世界的に鳥インフルエンザが発生しており、中でも日本国内では鳥インフルエンザが過去最大規模で発生し、鶏卵の需給が逼迫しているため鶏卵相場が急騰しております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比6.9%増の14,619百万円となり、第3四半期連結累計期間において過去最高となりました。

損益につきましては、連結営業利益は同3.3%増の1,125百万円、連結経常利益は同3.9%増の1,156百万円となり、いずれも第3四半期連結累計期間において過去最高となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に繰延税金資産72百万円を追加計上しましたが、当第3四半期連結累計期間においては追加計上がなかったことにより同5.7%減の797百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①液卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の販売単価及び原料の仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多くあり、鶏卵相場が高く推移した場合は販売単価及び仕入単価はともに高く推移します。逆に、鶏卵相場が低く推移した場合は販売単価及び仕入単価はともに低く推移します。そのため、販売単価と仕入単価の差益の一定額以上の確保と販売数量の確保により利益が最大になるように努めております。

当セグメントにおける売上の指標である販売数量につきましては、前年同期比4.3%増となりました。これは主に、前連結会計年度に獲得した取引先や既存取引先への販売が順調に推移したこと等によるものであります。

売上高につきましては、光熱費の値上がりを始めとする様々な製造コストの増加や鶏卵相場高騰による原料仕入価格の高騰に対応するため販売価格の改定を行ったことや、販売数量が増加したこと等により、液卵売上高は前年同期比5.5%増の12,673百万円となりました。また、加工品売上高はゆで卵や卵白プロテインの販売増等により同58.1%増の596百万円、その他売上高は同21.4%増の527百万円となりました。この結果、当セグメント合計の売上高は同7.6%増の13,798百万円となりました。

セグメント利益につきましては、前述のとおり製造コストの増加に対応すべく販売価格の改定を行ったことや販売数量が増加したこと、また製造コストの増加に対応するため工場の生産効率の向上や歩留まりの向上による製造コストの削減に努めたこと等、業績を向上させるべく様々な施策を講じた結果、前年同期比4.1%増の1,059百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業の内容をより明確化するため、セグメントの名称を鶏卵関連事業から液卵関連事業に変更しております。事業の内容につきましては変更はありません。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、高付加価値商品向けの販売の増加や当社グループ内での輸入粉卵及び卵白プロテインの委託加工等の販売が増加したこと等により、前年同期比2.6%増の950百万円となりました。

セグメント利益につきましては、光熱費の値上がり等製造コストの増加の影響により同8.2%減の53百万円となりました。

③その他

当セグメントは太陽光発電であり、売上高は前年同期比1.1%増の20百万円となりました。

セグメント利益につきましては、設備の修理費用の増加等により同1.3%減の12百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は13,046百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,287百万円増加しました。

流動資産は8,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,334百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加1,491百万円、現金及び預金の減少363百万円等によるものであります。

固定資産は4,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の増加157百万円、機械装置及び運搬具の減少146百万円、建物及び構築物の減少45百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,933百万円となり、前連結会計年度末に比べ703百万円増加しました。

流動負債は3,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ918百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加857百万円等によるものであります。

固定負債は1,151百万円となり、前連結会計年度末に比べ215百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少228百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は8,113百万円となり、前連結会計年度末に比べ584百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益797百万円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

鶏卵業界では、飼料価格の高騰により鶏卵生産者の生産意欲が減退し、また国内で鳥インフルエンザが過去最大規模で発生しており、鳥インフルエンザ発生に伴う採卵鶏の殺処分数はこれまでに一千万羽を超えております。そのため、鶏卵の供給不足による需給逼迫により鶏卵相場が急騰するなど、鶏卵の需給動向や相場動向を予測することが困難な状況となっております。一方、このような状況の中、現時点においては業績は概ね順調に推移しているため、2023年3月期の業績予想につきましては変更はしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,199	2,835
受取手形及び売掛金	2,254	3,746
商品及び製品	883	985
仕掛品	57	61
原材料及び貯蔵品	395	490
その他	46	54
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	6,824	8,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,689	1,644
機械装置及び運搬具(純額)	1,061	915
土地	1,915	1,915
その他(純額)	37	190
有形固定資産合計	4,704	4,666
無形固定資産		
投資その他の資産	8	7
投資有価証券	123	130
繰延税金資産	86	73
その他	15	19
貸倒引当金	△4	△8
投資その他の資産合計	221	214
固定資産合計	4,934	4,888
資産合計	11,759	13,046
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	667	1,524
短期借入金	1,002	1,108
未払法人税等	251	131
未払消費税等	—	58
賞与引当金	79	38
その他	862	920
流動負債合計	2,863	3,781
固定負債		
長期借入金	775	547
長期未払金	562	562
繰延税金負債	—	5
その他	28	36
固定負債合計	1,367	1,151
負債合計	4,230	4,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	382	392
利益剰余金	6,737	7,288
自己株式	△86	△65
株主資本合計	7,489	8,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	42
その他の包括利益累計額合計	40	42
純資産合計	7,529	8,113
負債純資産合計	11,759	13,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	13,676	14,619
売上原価	11,048	11,812
売上総利益	2,627	2,807
販売費及び一般管理費	1,539	1,682
営業利益	1,088	1,125
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
受取賃貸料	18	17
その他	11	16
営業外収益合計	31	36
営業外費用		
支払利息	6	4
営業外費用合計	6	4
経常利益	1,113	1,156
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,119	1,156
法人税、住民税及び事業税	327	341
法人税等調整額	△54	18
法人税等合計	273	359
四半期純利益	846	797
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	846	797

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	846	797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	2
その他の包括利益合計	△9	2
四半期包括利益	836	800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836	800
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,820	836	13,656	20	13,676
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	90	90	—	90
計	12,820	927	13,747	20	13,767
セグメント利益	1,018	57	1,076	12	1,088

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,076
「その他」の区分の利益	12
四半期連結損益計算書の営業利益	1,088

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	液卵関連事業 (注2)	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,798	801	14,599	20	14,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	149	149	—	149
計	13,798	950	14,748	20	14,769
セグメント利益	1,059	53	1,113	12	1,125

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 第1四半期連結会計期間より、事業の内容をより明確化するため、セグメントの名称を鶏卵関連事業から液卵関連事業に変更しております。事業の内容につきましては変更はありません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,113
「その他」の区分の利益	12
四半期連結損益計算書の営業利益	1,125

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
液卵	9,864	—	9,864	—	9,864
凍結卵	2,144	—	2,144	—	2,144
卵加工品	377	—	377	—	377
その他鶏卵関連	434	—	434	—	434
調味料	—	836	836	—	836
その他	—	—	—	20	20
顧客との契約から生じる収益	12,820	836	13,656	20	13,676
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,820	836	13,656	20	13,676

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	液卵関連事業 (注2)	調味料関連事業	計		
液卵	10,345	—	10,345	—	10,345
凍結卵	2,328	—	2,328	—	2,328
卵加工品	596	—	596	—	596
その他鶏卵関連	527	—	527	—	527
調味料	—	801	801	—	801
その他	—	—	—	20	20
顧客との契約から生じる収益	13,798	801	14,599	20	14,619
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,798	801	14,599	20	14,619

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 第1四半期連結会計期間より、事業の内容をより明確化するため、セグメントの名称を鶏卵関連事業から液卵関連事業に変更しております。事業の内容につきましては変更はありません。